

Newsletter

ボランティアセンター通信



首都大学東京
TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY



©東京マラソン財団

「東京マラソン2017」ボランティアに参加

2月26日(日)、「東京マラソン2017」が開催され、本学の学生81名と同法人の都立産業技術高等専門学校の学生15名、合計96名がボランティアとして参加しました。活動内容はマラソンフィニッシュエリアでの手荷物返却。拍手や「完走おめでとうございます!」「ナイスラン!」といった声かけでお迎えし、笑顔で手荷物の返却を行いました。フィニッシュしたランナーは大変お疲れの様子でしたが、「自己ベストタイム出せました!」と嬉しそうに報告してくれる方や、笑顔

でハイタッチをしてくれる方などが大勢おり、ランナーと東京マラソンの楽しさや喜びを共有できる、大変すばらしい活動でした。活動を終えた学生からは、「自分がマラソンに出た時の恩返しができる」「ランナーの方にお礼を言ってもらえるとは思ってなかったので嬉しかった」といった感想が寄せられたほか、「東京マラソンのボランティアが楽しかったから、他のボランティアもしてみたい」と本センターを訪れてくれる学生もいました。

東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ
「VOLUNTAIRER」サイトも要チェック!

アドバイザーからのメッセージ

ボランティア活動は、社会人や退職された方がおこなうイメージをもつ方が多いですが、これから社会にでていく学生にとって大切なこととして考えられています。米国における18歳以上の青年の60%以上はボランティア活動の経験があるといわれていますが、日本ではまだ少ないのが現状です。学生生活においては趣味活動やサークル活動、アルバイト、資格取得を目指すなど、自分でやりたいことを見つけ、そこに時間を費やすことができます。この春、新しいことに挑戦したいと思っている方、ぜひボランティアに参加してみませんか?ボランティア活動は新しい活動を通して、人と出会い、あらたな自分を知るチャンスでもあり、地域や人に貢献し、

環境を守るだけでなく自分の成長につながります。そして、「人の役に立つこと」を目標にして、自分が何のために、どのように行動するのかを決めて「活動」した経験は、今後の人生の財産になるでしょう。

ボランティアセンターでは、ボランティア活動を通して学生が様々な経験をし、成長できるようサポートをしていきたいと思っております。皆さんの参加をお待ちしています。

ボランティアセンターアドバイザー
健康福祉学部 理学療法学科 助教
信太 奈美



活動履歴

「前期の活動」

- ・親子でタケノコ掘りin首都大・松木日向緑地
- ・「平成28年 熊本地震」への募金活動（高幡不動駅前・新選組まつり）
- ・ボランティアプログラム事前学習
- ・スポーツボランティアプログラムキックオフオープン講座「スポーツボランティア入門」
- ・ボランティア団体フェア「サマボラ2016！」
- ・「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座
- ・東京2020ライブサイト in 2016 リオから東京へ

「後期の活動」

1) スポーツボランティアプログラム

スポーツイベント時に主催者とボランティアとのかけはしとなるボランティアリーダーを目指して、活動しています。21名の学生が参加。

- 9/14：東京都障害者スポーツ大会「スポーツの集い」
- 10/30：あそびのひろば(トランポリン)
- 11/20：東京都障害者スポーツ大会「グランドソフトボール」
- 12/17-18：首都大少年少女サッカー大会～川淵三郎杯～
- 1/29：東京都障害者スポーツ大会「車椅子バスケットボール」
- 2/17：事後学習（障がい者スポーツ）
- 2/26：東京マラソン2017

(→詳細)

2) 地域ボランティアプログラム

首都大学東京にある松木日向緑地を保全するための活動を、地域のボランティア団体である「ひなた緑地遊学会」と協力して行っています。月1～2回のペースで14名の学生が参加中。

- 10/ 1：竹の間伐
- 10/16：竹炭づくり
- 11/20：竹林整備と竹炭・竹笛づくり
- 12/ 3：小学生との竹炭・竹笛づくり
- 1/ 7：竹林整備
- 1/21：高校生との竹林整備
- 2/16：事後学習

(→詳細)

3) 明星大学での活動報告会

10月8日、明星大学ボランティアセンター主催のボランティア活動シンポジウムに、本センターの学生コーディネーターが参加させていただき、本センターの取組を発表しました。

4) 大学祭での学生コーディネーター企画「ふくしまレポート」

11月5日、「みやこ祭」にて、本センターの学生コーディネーター4人が夏休みに参加した「ふくしまに来て、見て、感じるスタディツアー」において、見聞き感じたことや福島県の今の姿、魅力を伝えるポスター発表を行いました。

スポーツボランティアプログラム



ボランティアプログラムのもう一つの柱、「スポーツボランティアプログラム」。こちらは、東京都障害者スポーツ協会や東京マラソン財団と連携し、それらの団体が主催するスポーツイベントにおいて、ボランティアとして運営のサポートを行いました。今年は、知的障がいのある方の運動会である「スポーツの集い」や視覚に障がいのある方が行う「グランドソフトボール」、「車椅子バスケットボール」、本学で開催された「少年少女サッカー大会～川淵三郎杯



←（スポーツの集い）知的障がいのある方々が参加する運動会での様子。ボランティアの学生たちがプラカードを持ち、選手の整列や競技待機場所までの誘導をしている場面です。

～」、「東京マラソン2017」にて活動を行いました。

- 参加学生からは
- ・迫力ある競技を間近で見たり、体験できたことで、障がい者スポーツの魅力に触れられた。
- ・スポーツは障がいの有無に関係なく、やはり誰もが熱く、楽しめるものだなあと改めて感じた。障がいのある人へのイメージが変わった。
- ・障がい者スポーツに関わる方々が、それを社会にもっと広めていこうと、様々な工夫や努力をされていることを知ることができた。
- ・ボランティアも東京マラソンの一員であることを強く実感できた。

といった感想が寄せられました。こちら、全活動後に事後学習を実施し、活動の振り返りや、活動を通じて考えたこと、学んだことをグループ内で共有しました。



←（サッカー大会）地元のサッカークラブに所属する小学生が集まって行われたこの大会では、プログラム参加学生とサッカー部員が運営ボランティアに携わりました。写真は、学生が司会を行っている様子。

地域ボランティアプログラム



後期から、本センター独自のプログラムの一つ、「地域ボランティアプログラム」が本格的に始動しました。このプログラムは、本学南大沢キャンパス内にある松木日向緑地をフィールドとして、多世代による里山保全と利活用を通して豊かなコミュニティを形成することを目標としています。総勢14名の学生がこの活動に携わっており、地域の森林ボランティア団体である「ひなた緑地遊学会」の方々のご協力も得て取り組んでいます。今年は、竹の間伐やその竹を用いた

炭づくり、また、地元の小学生や都立高校生を招いて、竹林整備の体験会や竹炭・竹笛づくりなどを行いました。

- 参加学生からは
- ・間伐作業を行ったところとまだ手を付けていないところの違いがはっきり分かり、達成感があった。
- ・手づくりや時間をかける良さ、自然の力を感じた。このような経験は災害時等でも役立つと思う。
- ・小学生たちが積極的に参加し、楽しんでいる様子を感じられて嬉しかった。

といった感想が寄せられました。すべての活動を終了後に実施した事後学習では、これまでの活動を振り返り、他のメンバーと共有することで、自身の想いと向き合ったり、多角的な視点から活動の効果と意義を見つめ直しました。最後には、事前学習の際に作成したボランティア宣言「首都東京をどのような街にしたいか、その中に自分をどのように位置づけたいか」も振り返り、活動を通じてその考えや想いにどのような変化があったかを述べてもらいました。

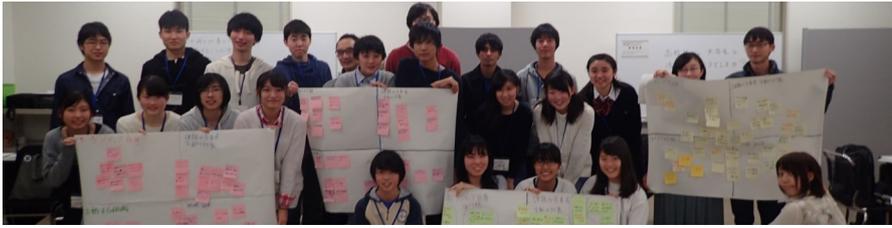


←南大沢小学校の生徒と竹笛づくりを行っている様子。遊学会の方から教わった作り方やコツを、今度は教える側となって小学生とともに工作に励みました。



←事後学習を行っている様子。遊学会の方にも参加していただき、今回のプログラムの意義や効果を多角的に考え、可視化していきました。

1 dayボランティア



11月13日から12月11日にかけて、ボランティアへのはじめの一歩を踏み出してもらうことを目的に、「1 day ボランティア」を実施しました。東京都教育庁と連携し、都立の中高生も共に取り組んだこの企画には、本学の学生18名と中高生13名の計31名が参加。各自の関心をもとに、「子ども・国際交流・環境・スポーツ・路上生活者支援」の5つの分野から活動先を選んでボランティアを行いました。参加した大学生からは、次のような感想が挙げられました。

- ・人と人とのつながりを感じることができ、そこで達成感ややりがいを感じられた。
 - ・ありがとうと言われたり笑顔になれたのが嬉しかったので、また活動したい。
- 今回の体験を通して、参加した学生は、ボランティアへの考えが非常に肯定的になったようです。
- また、受け入れ団体の方々からも、「大変助かったし、雰囲気若返った。ぜひまた来てほしい」といった声が寄せられました。



←皇居の外周で行われた「皇居cityマラソン」での活動の様子。声かけや残り周回数のカウントをしている場面です。



←新宿で路上生活をしている方を訪問している様子。路上での生活を選ばざるを得ない人々と社会について、より実感をもって考えて行動する機会となったようです。

1 dayボランティアに参加した中高生の声



都立中学3年生の3人

- ・多くのランナーが僕らの声に反応して、声を返してくれて嬉しかった。終わったときの達成感が好きなので、また参加したい。
- ・社会について考えを深められた。
- ・大学生から大学で学んでいることを踏まえた意見を聞くことができ、とても勉強になった。
- ・大学生は、活動したことを問題点解決や次の展開につなげて考えているところがさすがだと思った。私もこんなふうになれるのかなと思った。

設立1周年記念シンポジウム



3月4日(土)、ボランティアセンターの設立1周年を記念したシンポジウムを開催しました。シンポジウムは、本センターが実施したプログラムに参加した学生や本センターの学生コーディネーター、登録団体が活動成果を発表した第1部と、障がい者スポーツに焦点をあて、多様なゲストによるパネルディスカッションを行った第2部の2つで構成されました。

第1部は、進行や運営も学生が担当し、それぞれの団体が、活動を通して学

んだことや気づいたこと、課題などについて発表を行いました。会場の参加者からも多くの質問や意見が出され、学生たちの活動への関心の高さが伺えました。

第2部では、「大学生がつくるレガシー 2020とその後も残るボランティア文化の構築をめざして～障がい者スポーツの魅力と大学生にできること～」をテーマとしたパネルディスカッションのほか、ゲストによる電動車椅子サッカーのデモンストレーションも実施。繊細な操作で繰り広げられるパスやシュートなど華麗な迫力あるプレイに、会場中が引き込まれていきました。

会場には多くの学生や教職員、地域住民の方がお越しくださり、大変温かい雰囲気の中となりました。センターへの期待の声も多くいただきました。2年目も学生と地域をつなぐ取組を展開していきます。

5) 1 dayボランティア

ボランティアへのはじめの一歩を踏み出してもらうことを目的として、5つの活動先の中から希望の活動先を選び、「1日」お試し体験ができる企画です。ボランティアについて学ぶ「事前学習」と振り返りを行う「事後学習」もセットで実施しました。

- 11/13：事前学習
 - 11/14-12/10：各種活動
 - 12/11：事後学習
- (←詳細)

6) チャレスポ! TOKYO

1月9日に開催された東京都と東京都障害者スポーツ協会が主催するこのイベントは、パラリンピック競技をはじめとする様々な障がい者スポーツを体験できるもので、本学の学生12名が運営ボランティアとして活動しました。

7) 第3回大学生ボランティア活動展&イベント2017 「被災地と多摩の架け橋」

2月8日～12日、多摩地域の6大学が連携し、被災地の今を伝えたり、多摩地域の防災を考えるイベントを開催しました。東北や熊本などの被災地にてボランティア活動を行った団体によるパネル展や活動発表、その他、物産展や防災について考えるワークショップ等が行われました。

8) 東京マラソン2017

スポーツボランティアプログラムの活動の一環として参加した「東京マラソン2017」には、プログラム参加者以外の学生や同法人の東京都立産業技術高等専門学校の学生も参加し、合計96名の学生が活動しました。

(←詳細は表紙を参照)

9) 首都大学東京ボランティアセンター 設立1周年記念シンポジウム

本センターが開設して1年が経過し、この1年で多くの学生が地域の中で社会課題と向き合い、考え、行動してきました。その活動成果や想いを発信することで、ボランティア活動を身近に感じ、一歩を踏み出すことを応援する場として、本シンポジウムを開催しました。

(←詳細)

※「活動履歴」に載せた活動はすべて、本センターのホームページ(下のQRコードから)に、より詳しい記事を掲載しています。是非ご覧ください。



新たな学生コーディネーター紹介

～11月から、新しい学生コーディネーターが4名加わりました～

こんにちは、私たちは昨年11月から活動しています学生コーディネーターです。今年度さまざまなボランティアに参加してみて、主催団体それぞれが社会課題の解決に向けて独自のアプローチを実践していることを知りました。その多様性を学ぶ出発点として、首都大生がボランティアをより身近に感じられるようにしていきたいです。学生コーディネーター3期生一同、協力しあってこの首都大ボラセンを盛り上げていこうと思います！！

【後期の学生コーディネーター活動報告】

- 10/ 8 : 明星大学での活動報告会で発表
 - 11/ 5 : 大学祭での学生コーディネーター企画「ふくしまレポート」を開催
 - 11/13-12/11 : 「1 dayボランティア」企画、運営、活動中のサポート
 - 11/26 : 「はちおうじ志民塾」で活動発表
 - 12/ 4 : 「ふくしまに来て、見て、感じるスタディツアー 合同成果発表会」で発表
 - 2/13-14 : 「大学ボランティアセンター学生スタッフリーダーセミナー」に参加
 - 2/28-3/1 : 学生コーディネーター合宿を開催
 - 3/ 4 : 「ボランティアセンター設立1周年記念シンポジウム」での発表、進行・運営
- その他、メールマガジン「学生コーディネーター談話室」コーナーの運営や日々の相談サポート。

(インディくん)



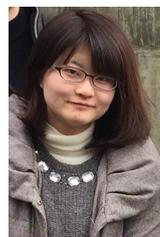
(ヤナギダくん)



(ニワくん)



(イチカワさん)



ボランティアセンターからのお知らせ

親子でたけのこ掘りin首都大・松木日向緑地 ボランティア募集

子どもたちの“たけのこ掘りや竹の伐採”をサポートするボランティア

【日時】 下記のいずれかを選択（複数日可）

- 4月 8日（土）9:30～13:00 南大沢小学校の親子
- 4月22日（土）9:30～13:00 柏木小学校の親子
- 4月29日（土）9:30～13:00 愛宕小学校の親子

【場所】 首都大学東京南大沢キャンパス内 松木日向緑地

【内容】 子どもたちの以下の活動のサポート

- ・たけのこ掘り ・高学年の竹の伐採体験
- ・たけのこ料理を調理し、食べる

【持ち物】 軍手、ビニール袋、ボランティア保険代（300円）

【服装】 動きやすい服装（長袖・長ズボン）

スニーカーや長靴など動きやすく汚れてもよい靴

【昼食】 参加者全員でたけのこ料理を食べます

【注意事項】

ボランティア保険に入っていない方は、必ず事前にボランティアセンターで加入してください。

（※4/1よりボランティア保険の年度が切り替わるため、更新が必要です）

【申し込み】

ボランティアセンターに電話かE-mail、来室のいずれかの方法で、「名前・住所・電話番号・学修番号・メールアドレス・活動希望日・ボランティア保険加入の有無」をご連絡ください。

第18回東京都障害者スポーツ大会（陸上競技部門） ボランティア募集

【競技の種類と日時・場所】

- ・陸上競技（知的部門）
5月27日（土）・28日（日）8:30～17:00
- ・陸上競技（身体・精神部門）
6月 3日（土）8:30～17:00

※どちらも駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場

【内容】

競技補助員、選手サポーター、ハガー、保安（駐車場）など
※希望する役割を申請の際に記載していただきますが、最終的な配置は、「東京都障害者スポーツ協会」によって決定されます。

【申し込み】

ボランティアセンターに電話かE-mail、来室のいずれかの方法で、「名前・学年・住所・学修番号・メールアドレス・活動希望日・希望する役割・ボランティア保険加入の有無」をご連絡ください。

【締め切り】

4/20（木）まで

※詳細はボランティアセンターHPをご確認ください。

学外団体からのボランティア募集情報

【未来クリエーション】「お願い！センパイ！ 出張！なんでも相談」

【場所】 上柚木中学校（首都大学東京南大沢キャンパスから徒歩5分）

【活動内容】 中学校の昼休みに教室に設けられた「相談室」にて、中学生とお話しし、少しセンパイである大学生という立場から相談にのるボランティアです。将来の夢、進路、恋愛、友情、などなど気軽に楽しくお話ししてください。

【日時】 毎週火曜日&木曜日の12:50～13:15

【申込】 下記連絡先までお問い合わせください。

未来クリエーション 副代表 長谷川勇希 E-mail:g1buakaw@gmail.com 電話:070-3816-9405 HP:www.kodomomirai.me

<編集後記>

2016（平成28）年度が終了しようとしています。ボランティアセンター設立後、この1年で、ボランティアセンターを訪れた相談者だけでも600人を超え、多くの学生と出会うことができました。ゼロからのスタートでしたが、多くの学生や教職員、地域の方々に支えていただき、土台を築くことができました。社会課題と向き合い、強い想いで活動している学生の皆さんの姿にいつも励まされました。2017（平成29）年度は、今年度の活動をさらに積み上げ、より拡げ、より深化させていく年にしたいと考えています。引き続き、よろしくお祈りします。

<編集・発行>

首都大学東京ボランティアセンター
〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 1号館1階
電話&FAX: 042-677-1354（直通）/内線2260
E-mail: tmu-volunteer@jmj.tmu.ac.jp
URL: http://www.gs.tmu.ac.jp/gakuseika/12_volunteer/
発行日: 平成29年 3月